

二 中央委員會に提出、全國的に反対運動を行ふこと

三 勞働會館建設に関する件

請文部提呈
説明者 平野ハシロ

主文 畧

會館の必要は枚等の日常開業の上に最も強く可からざるものがある。然るに未だ其の實現を見ずに居る。然るに資本の暴落は日に暗し。ストライキは激増しつつ、ある今日尚更其の建設の急を痛感す

実行方法

- 一 會館建設委員をして即時実行に着手せしめること
- 二 其の他具体的方法は第一回本部員會に一任

四 操短反対 対策に関する件

本部提呈
説明者 村尾重雄

主文

操短に依る一切の勞働條件低下反対
解雇・時間延長・休日増加反対
資本家の高率配当を止めろ!

理由

生産調節を名にして紡績資本家は操短を横行した。今や紡績業の経営は困難であると彼等は云ふ。其れがたぬには操短にあらざることを其れはブルジョア共の当然落付く可き運命の道ではないか。それを流口肉割の全解禁と。外國市場の崩壊。生産過剰。之等に依つて一時に紡績資本家はたゞきつけれられてしまつた。其の負擔を彼等は勞働者に押しつけて来たのだ。彼等は此の操短に反対しなくてはならん

実行方法

一 街頭に工場に於て反対の運動を起し万一口等の条件を切り下げたりなり断乎たる闘争に出ずること